

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義	
科 目 名	リハビリテーション医学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(1)
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名	702	
担 当 教 員	専任					
実務経験と その関連資格						
《授業科目における学習内容》						
リハビリテーション領域での対象となる疾患の病態を理解し、各時期(急性、回復、慢性)の適切な評価、治療に繋げる知識をつける。						
《成績評価の方法と基準》						
テスト						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
《授業外における学習方法》						
毎回の講義のまとめをしっかりと押さえておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
リハビリテーションという医学を学ぶために目的意識を持って臨むこと						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	リハビリテーション医学の概論を理解する				
	各コマにおける授業予定	①オリエンテーション ②リハビリテーション医学の概要				
第2回	授業を通じての到達目標	日本におけるリハビリテーションの現状とこれからのリハビリテーションを理解する				
	各コマにおける授業予定	リハビリテーションの現状				
第3回	授業を通じての到達目標	医療・介護における慢性期リハビリテーションを理解する				
	各コマにおける授業予定	慢性期リハビリテーション				
第4回	授業を通じての到達目標	高齢者特有な疾患と症状を理解する				
	各コマにおける授業予定	高齢者とリハビリテーション				
第5回	授業を通じての到達目標	骨の基礎的知識を理解し関節疾患の病態とリハビリを理解する				
	各コマにおける授業予定	骨・関節疾患とリハビリテーション				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	骨格筋の基礎知識を理解し骨格筋疾患に対するリハビリを理解する		
	各コマにおける授業予定	骨格筋・骨格筋疾患とリハビリテーション		
第 7 回	授業を通じての到達目標	代表的な膠原病の病態を理解しどのようにリハビリテーションとして介入するか 理解する		
	各コマにおける授業予定	膠原病とリハビリテーション		
第 8 回	授業を通じての到達目標	脊髄損傷の病態を理解し回復段階に応じたリハビリを介入できるようにする。		
	各コマにおける授業予定	脊髄損傷とリハビリテーション		
第 9 回	授業を通じての到達目標	呼吸器系の基礎的生理学と解剖学を理解する		
	各コマにおける授業予定	呼吸器の基礎知識		
第 10 回	授業を通じての到達目標	代表的な呼吸器疾患の病態を理解しリハビリテーションとして介入できるようになる。		
	各コマにおける授業予定	呼吸器疾患とリハビリテーション		
第 11 回	授業を通じての到達目標	循環器系の疾患に対し適切にリハビリが介入できるための循環器系の基礎的生理学と解剖学を理解する		
	各コマにおける授業予定	循環器(心臓・血管)の基礎知識		
第 12 回	授業を通じての到達目標	代表的な循環器疾患の病態を理解しリハビリテーションとして介入できるようになる		
	各コマにおける授業予定	循環器系の疾患とリハビリテーション		
第 13 回	授業を通じての到達目標	代表的な神経筋疾患の病態を理解し適切なリハビリテーションとして介入できるようになる		
	各コマにおける授業予定	神経筋疾患とリハビリテーション		
第 14 回	授業を通じての到達目標	代表的脳血管疾患の病態を理解しリハビリテーションとして適切に対応できるようになる		
	各コマにおける授業予定	脳血管疾患とリハビリテーション		
第 15 回	授業を通じての到達目標	基本的動作の介助方法を実技を通して臨床に役立てる		
	各コマにおける授業予定	日常生活動作について実技		